

総合計画実施計画策定及び行政評価シート

対象年度	平成31年度							
事務事業名	青少年相談員設置事業					予算事業名	青少年相談員設置事業経費	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 経常経費	
			10	05	03	0401		
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・ ③青少年の健全育						根拠法令	結城市青少年センター設置規則, 結城市茨城県 青少年の健全育成等に関する条例の施行に
	1青少年を取り巻く環境整備						事業の区分	主要事業
							担当課係等	生涯学習課 生涯学習係
事業期間	継続 (昭和48年度～平成32年度)							
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
非行防止(被害の未然防止含む)に関する効果的な活動を推進し, 青少年が健全に成長する社会を目指していく。				平成23年6月30日現在, 茨城県内すべての市町村において, 青少年相談員が設置されている。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
青少年の非行・被害の未然防止のため, 地域を熟知している青少年相談員を中心に, 街頭巡回, 立入調査, 県条例の普及啓発活動等を実施する。また, 活動の中心となる青少年相談員の資質向上を目的として研修等を実施し, 変化の激しい社会情勢に対応できる人材の育成に努める。				市内青少年相談員(58名), 市特別青少年相談員(1名)				
				【事業をとりまく環境の変化】				
				青少年を取り巻く環境が急激に変化しており, 青少年が巻き込まれる犯罪も多様化しているため, 地域・学校・行政がさらなる連携を図りながら青少年をはじめとする子どもたちの健やかな生活を確保できるよう務めていく。				
【平成31年度 事業内容】		【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】			
・街頭巡回(夜間特別巡回, 夏祭り特別巡回含む) ・「青少年の健全育成に協力する店」登録推進活動 ・図書等自動販売機立入調査 ・県外視察研修 ・広報紙発行		・街頭巡回(夜間特別巡回, 夏祭り特別巡回含む) ・「青少年の健全育成に協力する店」登録推進活動 ・図書等自動販売機立入調査 ・県外視察研修 ・広報紙発行			・街頭巡回(夜間特別巡回, 夏祭り特別巡回含む) ・「青少年の健全育成に協力する店」登録推進活動 ・図書等自動販売機立入調査 ・県外視察研修 ・広報紙発行			
■事業費								
財源内訳	国庫支出金	H29年度	H30年度					
	県支出金	0	0					
	地方債	0	0					
	その他	0	0					
	一般財源	1,382	1,587					
歳入計(千円)		1,382	1,587					
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)					
	01 報酬	1,380	1,584					
	11 需用費	2	3					
歳出計(千円)(A)		1,382	1,587					
伸び率(%)			14.83					
備考	総合計画121ページ 予算書170ページ							
	根拠法令: 結城市青少年センター設置規則 結城市茨城県青少年の健全育成等に関する条例の施行に関する規則							

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動指標	市内・市外（小山市）街頭巡回回数	回	目標	115.00	115.00	115.00
	市内5地区と小山市大型店舗の巡回を行う		実績	111.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	将来を担う青少年の健全育成及び非行・被害防止を推進する本事業は重要である
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市で委嘱をしているので、市が行う事業として妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	街頭巡回、有害図書等自動販売機の立入調査、また市内店舗への訪問等を通して、青少年を取り巻く環境の健全化に努めている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内各地区だけでなく、市内小中高등학교の教員や中学校PTAからも青少年相談員を選出しているため、市内全域をカバーできている。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	活動の性質上、すぐに成果としては表れにくい
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
<p>青少年を取り巻く環境が日々変化しており、青少年相談員のみでその全てに対応することは難しいが、継続した活動により、家庭・学校・地域や社会全体が協力して対応していくことが必要となる。また、教員やPTAから選出された相談員はなかなか活動に参加することが難しく、現状では特定の相談員が主に活動している状況でもあるため、青少年の健全な育成には、相談員1人1人の役割と活動がとても重要で必要不可欠であるということを理解していただかなければならない。</p>			
<p>対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか</p> <p>新任の相談員には積極的に研修等に参加してもらうことで、青少年相談員の役割を理解してもらうとともに、青少年相談員としての資質向上に努める。また、現代的な問題（スマートフォン関連や薬物等）に対応した視察研修を企画し、多くの青少年相談員に参加してもらうことで、現代の子どもたちが抱えている問題や危険性への理解を深めてもらい、現代の子どもたちに柔軟な対応ができるようにしてもらいたい。</p>			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>青少年相談員の資質向上のため、研修内容等の充実を図るとともに、市内・市外（小山市との連携）の街頭巡回活動を継続していく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>